

とやま 県 P T A



発行/富山県PTA連合会 編集/広報委員会
 富山市舟橋北町7-1 県教育文化会館内 TEL(076)444-9482 FAX(076)444-9481 toyamaken-pta@chorus.ocn.ne.jp http://www.toyamaken-pta.gr.jp/

平成25年3月5日発行

第169号

今こそ見つめよう 原点と未来

研究指定PTA発表大会・研修大会

平成二十五年二月二日(土)、サンシップとやまにて研究指定PTA発表大会・研修大会が開催されました。

今年度は、「今こそ、PTA活動の原点と未来を見つめよう」を研修テーマとし、次年度役員予定者を中心に約三〇〇名が参加しました。

研究指定PTA発表では、二団体が二年間の研究の成果を発表しました。

また、北陸学院大学教授で情操教育の最高峰といわれる金森俊朗氏による講演が行われました。「命の授業 つながり合って輝いて生きる」を演題に、自らの指導経験や児童作文をまじえて、子どもの持つ力や大人の問題点、人とかかわり合いや関係性の育みの大切さなどについて話されました。



講師の金森俊朗氏

研究発表

黒部市立田家小学校PTA

黒部市立田家小学校PTAの研究発表は、「親子ふれあい活動を通して会員・地域の輪を広げよう」と題し、活動内容を紹介しました。

毎年夏休みに開かれる「親子ふれあいデー」は、ラジオ体操、ふるさとクリーン作戦、お楽しみ会、花火大会など一日を通して親子の絆を深める充実した一大イベントとして

研究発表

高岡市立福岡中学校PTA

高岡市立福岡中学校PTAの研究発表は、「たくましく優しい子どもたちに」と題し、今年度の東陸大会において発表された内容を、もう一度練り直し発表されました。

PTA学年委員会の活動として一学年は「働くことの喜び講演会」、二学年は「14歳の挑戦の支援」、三学年では「親子清掃活動」の内容が発表されました。特に二学年の活動では、14歳の挑戦という事業

定着していることが発表されました。



人気No.1「かき氷」

館知宏PTA会長は、「地域の輪・つながりがあればこそその活動。大変ながらも親同士の絆が深まり、PTA活動に良い影響を与えています」と、成果を発表しました。

を通しての狙いや問題点などが発表されました。

活動の中で子どもたちが地域の方々とふれあうことによって、自分自身のあり方を見つめなおし、心も体も大きく成長してほしいという発表でした。



14歳の挑戦中

文部科学大臣表彰

日P会長表彰

〔文部科学大臣表彰 団体〕

●北加積小学校PTA(滑川)

●奈古中学校PTA(射水)

〔日P会長表彰 団体〕

●入善中学校PTA(入善)

●庄西中学校PTA(砺波)

〔第34回全国小・中学校PTA

広報紙コンクール入賞校〕

●日本PTA全国協議会 会長賞「やまむら」富山市立

山室中学校PTA

●日本教育新聞社 社長賞

「矢流(しりゅう)」小矢部市立石動小学校PTA

●教育家新聞社 社長賞

「心の城」小矢部市立石動中学校PTA

●写真賞「むらき」魚津市立村小小学校育成会

〔文部科学省・日P共催 三行詩コンクール全国 佳作入賞

●南砺市立福野中学校校友会 斉藤 睦子



▶日本PTA全国協議会会長賞「やまむら」

特集 ネット社会と上手に付き合おう

フィルタリングは
あたりまえ

親子でとりくもう!! ネットのルールづくり



つに、ネットや携帯のルールづくりを組み入れてほしいです。

武田 家庭でのルールづくりはすごく大事です。今まで以上に、親子のコミュニケーションをとらなければなりません。スマホの使い方やフィルタリングの設定などについても話しをしてほしいです。

池原 どんな時代でも基本は同じ。あくまでも、ネットや携帯は道具なので。使い方がわからなくても、親は子どもにいろいろなことを教えないといけないと思います。もし、ネットなどについてわからないのなら、学校やPTAにお願いしてインターネット安全教室を開催していただくのもいいですね。



プロフィール
池原 哲男 アドバイザー
宇奈月町立宇奈月小学校 校長
宇奈月町立愛本小学校 校長
入善町立上青小学校 校長
黒部市立石田小学校 校長を経て
平成22年度より
富山県PTA連合会アドバイザー
教育環境問題委員会 担当

対談

池原哲男×武田精一 アドバイザー

●子どもたちのネットでのトラブルとは？

池原 メール交換や掲示板、SNSでのトラブルが多いですね。

うまく意思が通じず、悪口や過激な言葉が飛び交ったりして、トラブルになることもあります。文字だけのやりとりは、対面してしゃべらないので、相手の表情など見えないので、本気なのか冗談なのか分からない。それによって、誤解を招いてしまうことがあります。またメールの返信が遅いと、気分を害し

たり不安感を持つたりして、勉強中や食事中等常に携帯やスマホを手放せなかったりもします。あとは、女子中学生の60%はSNSで知り合っているというところも聞きました。

●リアルに会ったりもする？

武田 最近の一部のSNSでは、出会い系の温床になりつつあり、実際に事件も発生しています。例えば掲示板に、中三の女子が「友だちを探しています」と書き込んで、実際はどこかのオヤジが女子中

●ネット社会の怖さ

池原 ただ、ネット社会の怖さっていうのは危険が目に見えず実感がないことです。大人の社会に子どもが関わることで、ひと昔前より早くなつたと思います。ネット社会は大人社会ですから。だからこそ、人間関係やあいさつや礼儀などしっかりとできるようにしておいたほうがいいですね。

武田 それと同時に、家庭でネットとのかかわり方を親子で学ぶことも大事ですね。

池原 あと、時間とお金のことは親が決めること。最終決定は親がすることであり、親の責任です。

●最後にメッセージを！

武田 今の子どもたちは、ネット社会があたりまえの時代に育ってきたので、親も意識してこういう時代ならではの親子のかかわり方を、常に考えながら接してほしいです。

池原 実験の時間を増やしてほしいです。パーベキユーや星の観測などを親子で体験をすることにより、つながりも深まります。子どもたちもリアルな体験を多く積み重ね、リアルな世界についても判断できる「ものさし」を作れるようにしたいものです。

「携帯・インターネット安全教室」開催しています!!

富山県PTA連合会では、平成20年度より「携帯・インターネット安全教室」など開催し、インターネットを安全快適に活用するためにはどうするべきか、子どもたちを被害から守るためにはどのような対策をとればよいかなど、地区PTA連合会や各学校のPTAを通じて、保護者・教職員・児童・生徒を啓発する活動を行っています。なお、今年度は下記の9会場で「携帯・インターネット安全教室」を開催しました。(県PのHPに詳細を掲載しています。ぜひご覧ください。)

6月17日(日) 富山市立速星小学校	11月17日(土) 小矢部市立東部小学校
7月4日(水) 上市町立上市中学校	12月1日(土) 黒部市国際文化センター コラーレ (魚津ブロックPTA連絡協議会)
7月8日(日) 入善町うるおい館 (入善町PTA連絡協議会)	1月25日(金) 小矢部市立大谷中学校
9月29日(土) 滑川市立田中小学校	1月27日(日) 砺波市立砺波東部小学校
11月10日(土) 高岡市立伏木中学校	



プロフィール
武田 精一 アドバイザー
富山県PTA連合会 広報委員長
同 教育環境問題委員長
同 副会長(職務代行)を経て
平成24年度より
富山県PTA連合会アドバイザー
教育環境問題委員会 担当

学生になりすまして書き込んでいたとか。

池原 昨年京都では、女子中学生をだましたというところで三五歳の男が逮捕されました。掲示板で「友だち探しています」と書き込んだだけで、不特定多数に情報が流れる。プロフィールと同じですね。そのうち、やりとりを始めて実際に会ってみようかと。特に女子中学生は、バーチャルではなくリアルな付き合いをしてみたいと思ってしまう。ネット上の社会は、ネット上だけで収めてくれるといいのですが、リアルな世界とバーチャルな世界を、はつきり区別することが大切なのですが、子どもは経験不足で正しい判断をすることができません。

●フィルタリングはあたりまえ

え

池原 今の社会では、子どもたちに携帯やスマホを持たせないことや、ネット社会から切り離すことは不可能です。

武田 フィルタリングは「かけて安心」ではなく、「かけてあたりまえ」。フィルタリングには、小学生・中学生・高校生と発達段階に応じた設定ができるものがあります。また、各携帯電話会社にもフィルタリングアプリやアクセス制限サービスがあるので、それを使って設定することもできます。フィルタリングアプリも多様化され、使用時間の制限もできたりします。

●家庭でのルールづくり

池原 ルールづくりは子育ての基本であり、親の責任でもあります。子育ての中のひと

平成二十四年度(第三回)富山県小中学校PTA 三行詩コンクール受賞作品

富山県PTA連合会では、「親子で話そう!家族のきずな・我が家のルール」をテーマに三行詩を募集しました。

応募総数三〇六四作品の中から厳正なる審査を経て、最優秀賞三作品、優秀賞十二作品、優良賞二十作品と団体賞九校を選出しました。二月二日(土)、サンシップとやまにて表彰式を開催しました。



■最優秀賞

〈小学生の部〉

「家族団らんって何?」とぼくが聞く
「これが家族団らんだよ」と
お母さんがわらう
砺波北部小(砺波)四年
津田 晃

津田 晃

〈中学生の部〉

がんばられ!母さんが言う
がんばらんでもいいぞ!!
じいちゃん、父さんが言う
元気に学校に行けばいいと
ぼあちゃんと言う
みんな自分の事を考えて言ってく
るのだと、最近わかってきた
十三中(氷見)二年
林 佳希

林 佳希

〈一般の部〉

自分が笑えば、子供も笑う
自分がおければ、子供もおこる
子育てが終わる頃、やっと気が
ついた

福野中(南砺)保護者 齊藤 睦子

■優秀賞

〈小学生の部〉

十二町小(氷見)一年 澤村明日香
砺波北部小(砺波)四年 未結
田中小(滑川) 五年 川端 泰史
砺波南部小(砺波)六年 吉川 聖人
東部中(魚津) 一年 浦田 真希
小杉南中(射水)二年 宮田 修作
月岡中(富山) 三年 藤木 日菜
小杉南中(射水)三年 足立可奈子

聖人

〈中学生の部〉

宇奈月中(黒部) 菊地 幸子
雄山中(立山) 大畑 賢寛
雄山中(立山) 品川今日子
雄山中(立山) 吉澤 良子

団体賞

ひばり野小PTA(入善)
田中小育友会(滑川)
十二町小PTA(氷見)
砺波北部小PTA(砺波)
鷹施中PTA(黒部)
小杉南中PTA(射水)
十三中育友会(氷見)
大谷中PTA(小矢部)
井口育成会(南砺)

「お弁当の日」

お弁当を作って家庭で食育

先進PTAに学ぶ事業



平成二十五年一月十二日(土)、県P運営委員と研修委員が先進PTAに学ぶ事業として、南砺市立城端小学校を訪問しました。

城端小PTAでは「お弁当の日」を設け、子どもたちが自作のお弁当を持ってくる活動を行っています。参加者は取り組みについての経緯や現状などを聞き、ぜひ参考にしたいなど興味を示していました。

〈城端小PTAの取り組み〉

平成二十二年、県内で初めて「お弁当の日」を実施しま

した。一日だけの取り組みであつたものの、予想を上回る子どもたちの反応に、昨年からは年四回の本格実施となりました。この活動は、学校・地域に働きかけ、理解・協力を得て、行われています。食育の面だけではなく、子どもたちが家庭科、社会科で学んだことを実践、発展させる機会にもなっています。保護者からは、「自分で料理を作る力や、生活力、段取り力がついた」や、「お手伝いを積極的にしてくれるようになった」などの感想が上がっています。PTAとしても今後この活動を継続していきたいと思つています。



お弁当をなかよく会食



子どもたちが作ったお弁当

県Pからのお知らせ

広報研修会

日時 平成25年5月26日(日)
13:30~
場所 サンシップとやま

あわせて、広報紙コンクール表彰式を開催します。

平成25年度富山県PTA連合会 定期総会

日時 平成25年6月1日(出)
15:00~
場所 サンシップとやま

あわせて、13:00~親子安全会の講演会を開催します。

編集後記

今年度の県P広報では、東北陸ブロックPTA研究会富山県大会とネット社会についての特集を組みました。どちらの特集にも共通したキーワードは「親子のコミュニケーション」。県P広報が、親子のコミュニケーションに役立つと幸いです。

広報委員長 廣田 春美